

勾玉をつくろう!

日時/7月26日、8月9・23・30日 ※いずれも(金)13:30~16:00(受付終了15:00)  
 場所/城陽市歴史民俗資料館 工作室  
 対象/小学生以上(ただし、小学2年生以下は保護者同伴)  
 定員/15名 参加費/おとな 200円、小・中学生 100円(入館料含む)  
 申込み/令和元年7月13日(土)10時より電話または来館にて申込み



考古学教室

①銅釧(古代の腕輪)をつくろう! & 和同開珎をつくろう!

日時/7月27日(土)13:30~16:00(受付終了15:00)  
 場所/城陽市歴史民俗資料館 工作室他  
 講師/資料館職員 資料館女の会ボランティア  
 定員/銅釧10名・和同開珎12名  
 参加費/[銅釧]おとな700円 [和同開珎]おとな200円(入館料含む) 小・中学生600円 小・中学生100円  
 対象/小学生以上(小学2年生以下は保護者同伴)

③土器型クッキーをつくろう!

日時/8月8日(木)13:30~16:00(受付終了15:00)  
 場所/寺田コミュニティセンター 調理実習室(文化パルク城陽西館3階)他  
 講師/資料館職員  
 定員/10名  
 参加費/550円(別途入館料必要)  
 対象/小学生以上(小学2年生以下は保護者同伴)  
 ※アレルギー食品についてはお問い合わせください。

②埴輪をつくろう! & 土器をつくろう!

日時/8月2日(金)13:30~16:00(受付終了15:00)  
 場所/寺田コミュニティセンター 美術工芸室(文化パルク城陽西館3階)他  
 講師/志津川陶芸教室 梅原武平氏  
 定員/20名 参加費/340円(別途入館料必要)  
 対象/小学生以上(小学2年生以下は保護者同伴)

④竪穴住居をつくろう!

日時/8月15日(木)13:30~16:00(受付終了15:00)  
 場所/城陽市歴史民俗資料館 工作室  
 講師/資料館職員  
 定員/10名  
 参加費/550円(別途入館料必要)  
 対象/小学生以上(小学4年生以下は保護者同伴)

①~④共通 申込み 7月18日(木)10:00より電話または来館にて申込み



■開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 ■休館日 月曜日(祝休日の場合は開館) 祝休日の翌日(土・日曜日の場合は開館) 12月27日~1月4日  
 ■観覧料 おとな 200円(140円) 小・中学生 100円(70円)  
 <団体料金>おとな 160円(110円) 小・中学生 80円(50円)  
 ※団体は20名様以上 ※( )内はプラネタリウムとの共通観覧の場合の資料館観覧料  
 <次の方は観覧料が免除されます>  
 ★城陽市内在住の65歳以上の方  
 ★城陽市内在住の小・中学生  
 ★城陽市内在住の身体障害者手帳等をお持ちの方  
 ★城陽市外の小・中学校の団体観覧(ただし、児童・生徒のみ)



資料館マスコット「ごりごりくん」  
 ごりごりくんは心優しい豪族ゴリラです。「五里五里の里」の「ごり」とその語感からゴリラをキャラクター化したものです。古墳・遺跡の多い城陽市の特徴から古墳時代を思わせる姿になっています。

★印は入館無料!!!

五里ごり館 開館カレンダー 印は休館日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7
	7	8	9	10	11	12	13	11	12	13	14	15	16	17	8	9	10	11	12	13	14
	14	15	16	17	18	19	20	18	19	20	21	22	23	24	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	25	26	27	28	29	30	31	22	23	24	25	26	27	28	
28	29	30	31											29	30						

五里ごり館通信

五里ごり館

城陽市歴史民俗資料館(文化パルク城陽 西館4階)  
 〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀1番地  
 TEL 0774-55-7611 FAX 0774-55-7612



第84回文化財講演会

日時: 令和元年7月14日(日) 13:30~15:00  
 場所: 寺田コミュニティセンター会議室(文化パルク城陽西館3階)  
 演題: 「地を飾る瓦」  
 講師: 愛荘町立歴史文化博物館 学芸員 山本剛史氏  
 参加費: 無料  
 申込み: 不要

講演会終了後、西館4階歴史民俗資料館特別展示室にて、講師の山本剛史氏による展示解説があります。

ギャラリートーク

帝塚山大学生・大学院生が展示の見所を解説します。  
 日時: 令和元年7月28日 8月11・25日 9月8日 各日とも日曜日 14:00~15:00  
 参加費: 無料(入館料必要)  
 申込み: 不要  
 定員: 10名程度

JOYO エコミュージアム まちの魅力再発見ミニツアー ~こんな瓦があったんだ~

城陽市内を歩いて、現在家屋の屋根に葺かれている瓦を見学します。最後は資料館で展示を観覧し、瓦の魅力を再発見していただきます。  
 日時: 令和元年8月4日(日) 10:30~12:00(受付10:00から)  
 集合場所: 城陽市歴史民俗資料館受付前  
 講師: 資料館職員  
 参加費: 無料(入館料必要)  
 申込み: 不要  
 持ち物: ドリンク、タオル。  
 定員: 20名程度

暑い中のツアーですので、熱中症には十分な対策をして参加して下さい。

文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業採択  
 『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進  
 帝塚山大学附属博物館・城陽市歴史民俗資料館共催  
 JOYOエコミュージアム令和元年度夏季特別展  
 自瓦自賛  
 瓦を解き明かす  
 令和元年7月6日(土)~9月8日(日)

# 瓦ってなに？

瓦は屋根に葺いて雨水や日差しを防ぐための屋根材で、石や金属製もありますが、通常は粘土で焼いたものを指します。これを粘土瓦と言い、紀元前11世紀頃の中国で誕生したものが、朝鮮半島を通じて飛鳥時代の日本に伝わりました。

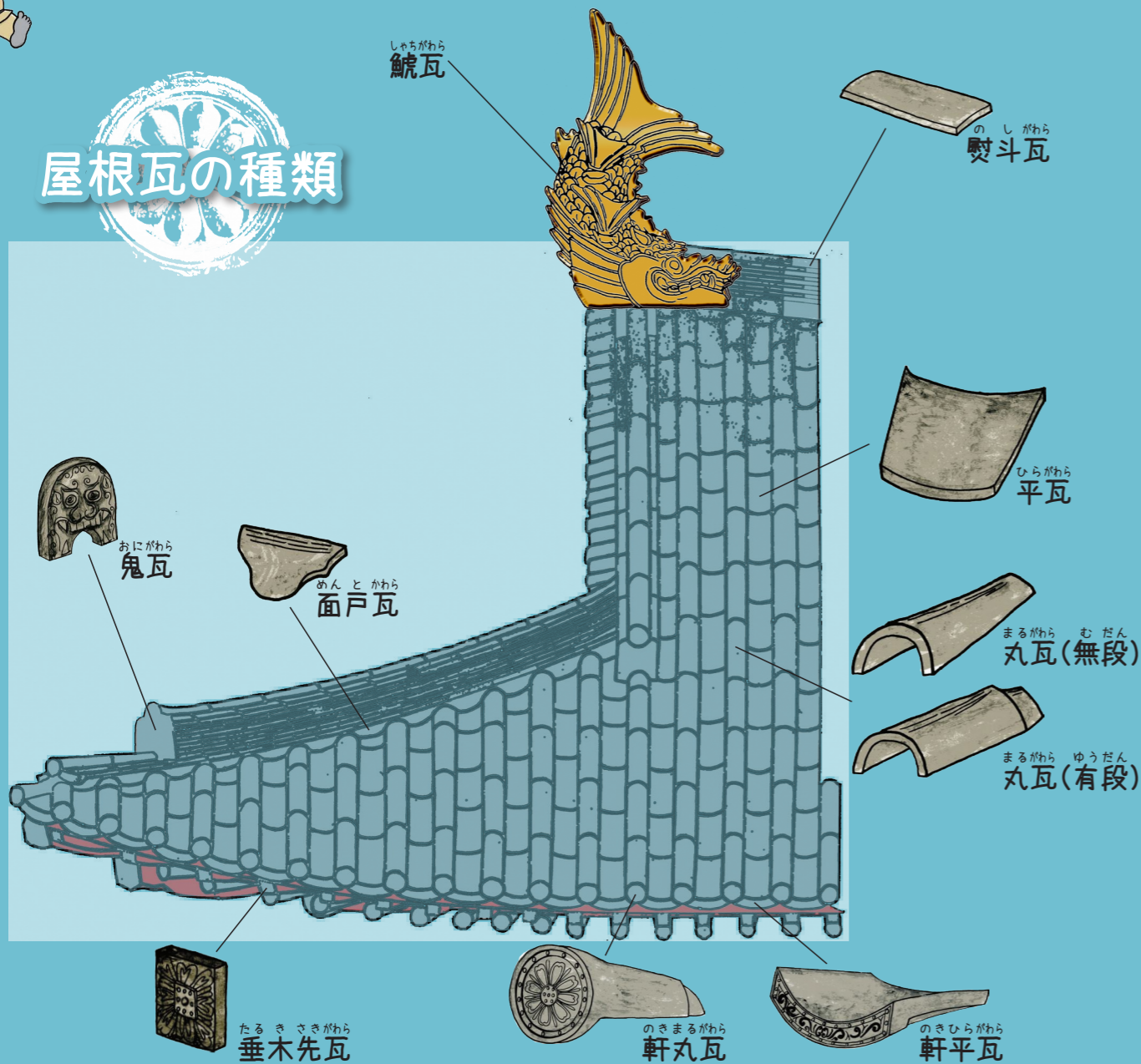
中国はアジアの瓦の発祥地であり、およそ3000年前には本格的に瓦を使用していました。古代の瓦は寺院や宮殿、官衙（古代の役所）でのみ使用されていました。現在のように、民家の屋根に瓦を用いるのは江戸時代に入ってからです。

古代の城陽市にも瓦を用いた建物がありました。平川廃寺、久世廃寺、正道廃寺の3つが主な瓦葺きの建物として知られており、飛鳥時代から平安時代の瓦が出土しています。

本特別展では、瓦の発祥地である中国3000年前の瓦から朝鮮半島、日本の瓦を展示し、瓦の通史を御紹介します。



## 屋根瓦の種類



## 軒瓦の部分名称



## 瓦の造り方



よく乾かして、窯で焼く



## 蓮華文の種類

瓦の文様で代表的なものは蓮の花をあしらった蓮華文です。同じ蓮華文ですが、赤い部分を見ると少し文様違って見えます。

左は間弁の間の花卉が1枚で子葉がありません。真ん中は間弁の間の花卉が1枚で子葉があります。右は間弁の間の花卉が2枚あります。それぞれ素弁蓮華文、単弁蓮華文、複弁蓮華文と言います。基本的に素弁蓮華文→単弁蓮華文→複弁蓮華文の順番に登場し、飛鳥・奈良時代を代表する文様です。

